

# 産学官等連携で取り組む 「ふくい省塩プロジェクト」

福井県健康福祉部健康医療局  
健康政策課健康長寿グループ  
企画主査 森川 渚



# 福井県の概要



(R6.10.1現在)

面積：4,190.57km<sup>2</sup>

総人口：738,691人

世帯数：298,603世帯

出生数：4,528人

高齢化率：31.9%



17市町（9市8町）  
※保健所設置市：福井市

県型保健所数：6 健康福祉センター



## 【行政栄養士の配置】

- ・ 県庁：4名（健康づくり、高齢福祉、食品表示、教育委員会）
- ・ 健康福祉センター：9名（食品衛生監視員除く。）

※その他の配置先：県立病院、児童・女性相談所、食品加工研究所 等

# これまでの食環境整備事業(ふくい100彩ごはん)

## 福井県の健康・栄養課題

- 20歳以上男性の3人に1人は“肥満”
- 20～30歳代女性の5人に1人は“やせ”
- 65歳以上女性の5人に1人は“低栄養傾向”
- 食塩摂取量が“多い”
- 野菜の摂取量が“少ない”

## 福井県の食文化

- 米や野菜など食材・特産品が豊富
- 調理済み食品（惣菜）の利用が多い  
（コロッケ、カツレツ、天ぷら・フライの購入額※は全国1位） ※1世帯当たり
- 大豆・大豆製品を日頃からよく使用  
（油揚げ・がんもどきの購入額※は61年連続1位）

【目的】 県民が人生**100**年時代を**健康**に過ごし**活躍**できる

【目標】 **健康な食事**の定着



- ① 低塩分
- ② 野菜たっぷり
- ③ 主食・主菜・副菜がそろった食事



外食や中食を利用する場合においても健康な食事ができる食環境づくりとして、事業者と協力し、福井県の豊富な食材・特産品を活かした低塩分で野菜たっぷりのバランスのとれたメニュー「ふくい100彩ごはん」を認証

# 福井県長期ビジョン(2020▶2040)



福井県の目指す将来像とは・・・

基本  
理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、  
もっと挑戦！もっとおもしろく！

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを、みんなで守り、次世代に引き継ぐ。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指します。

SDGsの理念に沿いながら、3つの姿を目指します。

目指す姿

自信と誇り  
のふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、  
外に開いて人を呼び込む。

「ふくいらしさ」を大切に。  
県民が誇りをもって  
暮らすことにより、  
さらに多くの人を呼び込むふくい

誰もが主役  
のふくい

多様な個性を大事にし、  
みんなが自分らしく輝く。

すべての人が輝き、  
互いに支え合い、  
幸せを実感しながら、  
将来にわたり安心して暮らせるふくい

飛躍する  
ふくい

変化をチャンスに、  
しごととくらしを創造。

交通体系の進展や  
技術革新を活かして、  
産業の新たな可能性を拓く。  
創造的で活力があるふくい

SDGsの理念

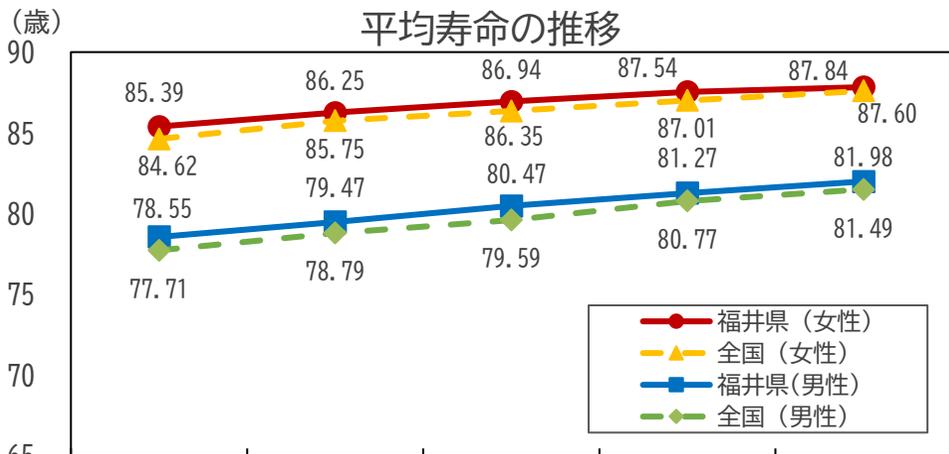
誰一人取り残さない、  
持続可能な  
多様性と包摂性  
のある社会

「ふくいの良さ・強み」

安心と信頼の社会基盤

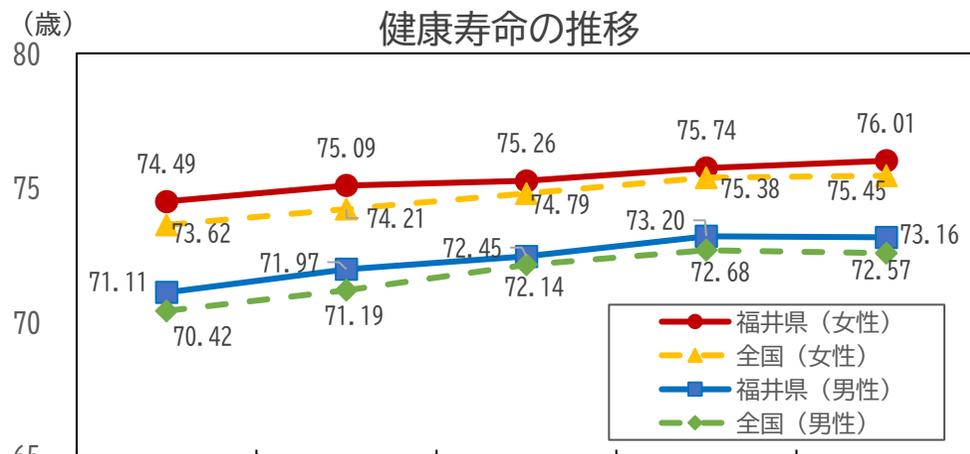
先人が築き守り伝えてきた歴史・文化、豊かな自然や食、  
家族や地域のつながり、充実した子育て・教育環境、安定した産業・雇用など

# 第5次元気な福井の健康づくり応援計画の策定 —福井県の健康・栄養課題の現状—



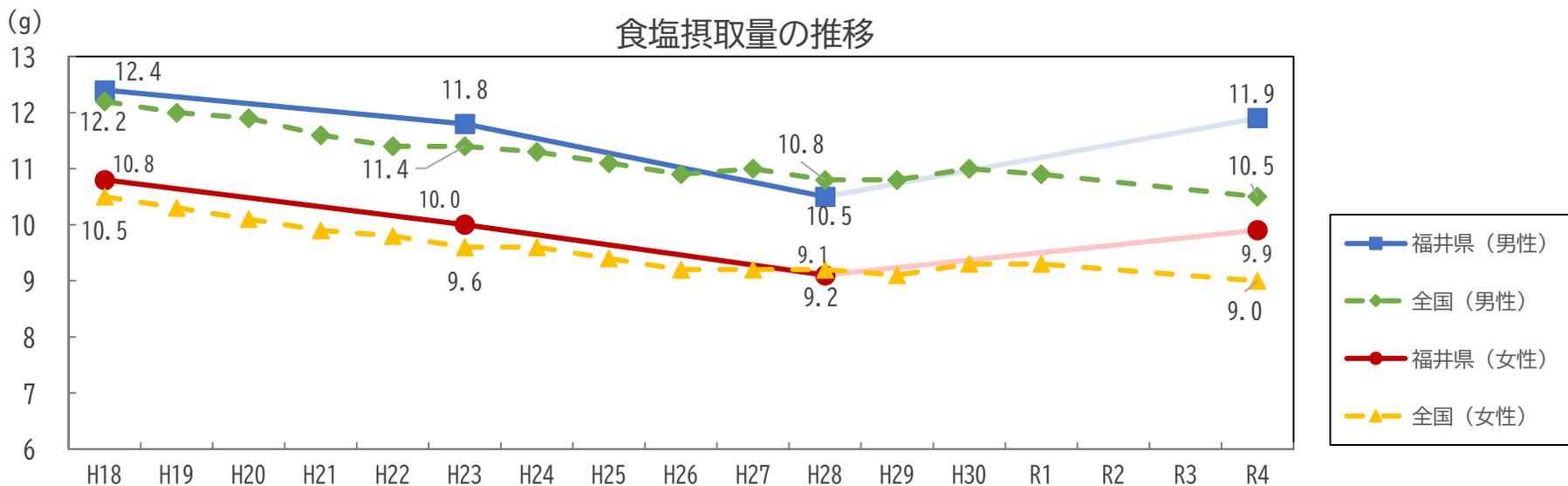
|      | H12 | H17 | H22 | H27 | R2  |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全国順位 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2  |
| 男性   | 2位  | 4位  | 3位  | 6位  | 7位  |
| 女性   | 2位  | 11位 | 7位  | 5位  | 19位 |

(出典：都道府県生命表)



|      | H22 | H25 | H28 | R1  | R4 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 全国順位 | H22 | H25 | H28 | R1  | R4 |
| 男性   | 8位  | 6位  | 10位 | 10位 | 8位 |
| 女性   | 11位 | 9位  | 14位 | 19位 | 7位 |

※厚生労働省が国民生活基礎調査等から算出



(出典：国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査) ※ R4 県民健康・栄養調査は調査手法が異なる

# 第5次元気な福井の健康づくり応援計画の策定 ー全体図ー

期 間 : 令和6年度～令和11年度（6年間）

【全体目標】

「生活習慣を改善」し、健康寿命のさらなる延伸

【基本的な考え方】

- ・ 県民の主体的な健康づくりに加え、意識せず健康につながる行動をとることができるような環境づくりを推進
- ・ 県民の健康課題を分析、保険者等と共有、共通認識を持って地域で健康づくり施策を推進

【基本方針（施策の内容）】

## I 県民自ら行動を変える健康づくりと環境づくり

〔主な内容〕

- ・ 「歩行」、「減塩」を最重点要素として、生活習慣の改善に向けた施策を展開
- ・ 「睡眠」や「女性の健康」など新たな項目による健康づくりを推進

## II 生活習慣病の早期発見と重症化予防

〔主な内容〕

- ・ 特定健診や特定保健指導の推進
- ・ 糖尿病など生活習慣病の重症化予防のための取組み

## III 大学等との連携による健康づくり

〔主な内容〕

- ・ 大学等と連携し、医療データ等から健康課題を分析する体制構築
- ・ 商工団体と連携し「健康経営」の考え方を事業所に周知
- ・ 保険者と健康課題を共有し、全県的な健康づくり施策を推進

# 知事とクリエイターとの意見交換会（政策デザインミーティング）

**目的** 知事が政策立案の上流部分からデザイナー・クリエイターと直接意見交換を行うことにより、物事の本質を捉えた、県民目線で質の高い政策づくりにつなげる。

**日時** 令和5年10月6日（金） 15:30～16:30

**出席者** デザイナー・クリエイター 3名  
知事、健康福祉部長、健康医療局長、健康政策課長、未来戦略課長

**テーマ** 「自然に健康になれる運動・食環境づくり」

## 主な意見（食環境づくり）

- ・「減塩＝おいしくない」というイメージがあるためポジティブな表現にしてはどうか。
- ・福井は食材が美味しい。福井の食文化をたたえながら減塩に向かって欲しい。
- ・福井県は惣菜の利用が多く、惣菜を減塩化するのが効果的ではないか。
- ・スーパーは消費者にとってよい情報源である。
- ・地域性を活かして、企業にメリットを与え、協力いただかなければならない。
- ・どれだけ食塩を摂取しているか見える化することも一つ。
- ・ムーブメントを作っていくことが重要。
- ・健康づくりは、自分自身のために続けられなくても、周りの人のため、誰かのためになら続けられることもある。



- ・「第5次元気な福井の健康づくり応援計画」の方向性に問題がないことを確認
- ・意見を踏まえ、具体的な施策を検討
- ・「減塩」に代わるキャッチコピーの制作をデザイナーに依頼

しょう えん

## 省 塩 とは

「省塩」とは、「減塩」と同じく、食事から摂取する食塩（ナトリウム）を減らすことをいいます。「減塩して適切な食塩摂取」は健康づくりに欠かせませんが、「減塩」と聞くと、“美味しくなさそう” や “物足りなさそう” などのイメージを持っている人もいるのではないのでしょうか。

福井県では、「減塩」を“やってみたい”と前向きにとらえて取り組んでもらうよう、「省エネ」とかけて「省塩」という表現で、県民の方の食塩摂取量を減らす取り組みを行います。

自分のため、周りの大切な人のため、県民のために、**食塩の摂り過ぎを省く「省塩」**と一緒に取り組んでみませんか。

### 省 塩

家は省エネ。食事は省塩。

地球環境にやさしいのは省エネ。体内環境にやさしいのは省塩。

省エネは家計を救う。省塩は家族を救う。

省塩で育った子は、省塩で育てる親になる。

# 「ふくい省塩プロジェクト」立上げに向けた主な活動（R6）

4～5月

6～7月

8～9月

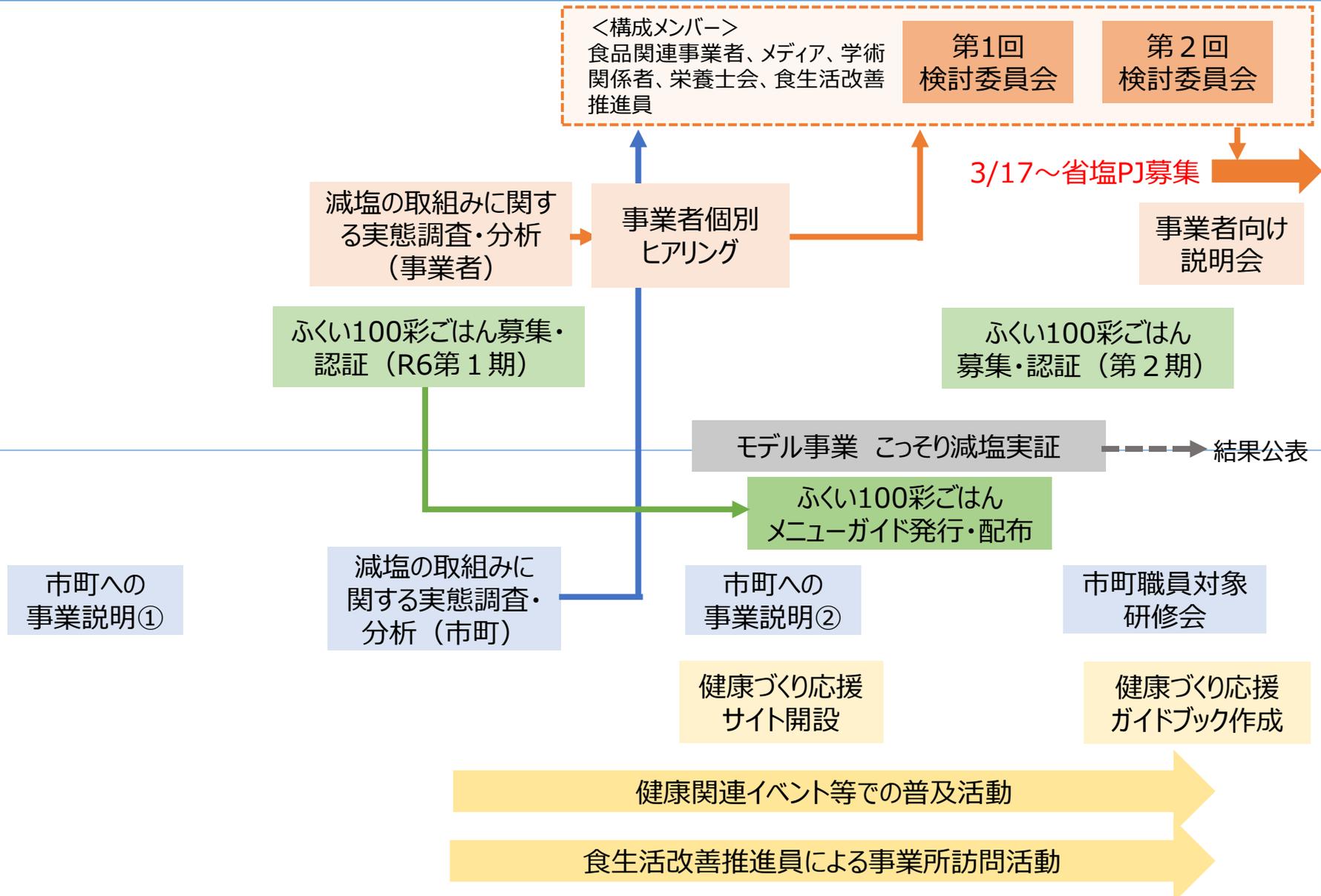
10～11月

12～1月

2～3月

事業者の体制づくり

県民の意識向上



# 減塩の取組みに関する実態調査・分析

## 事業者対象

調査対象 福井県内に事業所（店舗）をもつ食品製造事業者、食品流通事業者（スーパーマーケット・小売り） 200事業者

回答数 74事業者（37%）  
〔食品製造（惣菜）17件、食品製造（惣菜以外）26件、食品流通22件、その他9件〕

### 主な結果

- ・減塩商品※を製造・販売している事業者…41.9%
- ・減塩商品の製造・販売が進むための取組み…
  - 「消費者の意識向上のための周知啓発」 41.9%
  - 「商品の改良に関する情報提供」 37.8%
  - 「効果的な販売手法の情報提供」 28.4%
- ・プロジェクトにどのような取組みがあると魅力的か…
  - 「県民向け普及啓発イベント・キャンペーン」 41.9%
  - 「事業者コラボによる減塩商品の開発・販売促進」 40.5%
  - 「国の動向、他事業者の取組事例等の情報提供」 31.1%

※ここでいう「減塩商品」は通常商品あるいは過去の商品と比較して食塩相当量を減らした商品をいう。

## 市町対象

調査対象 県内17市町

回答数 17市町（100%）

### 主な結果

- ・減塩事業の実施状況…100%
- ・お店など環境づくりに関する事業の実施状況…35.3%
- ・連携している関係機関…
  - 「食生活改善推進員」 88.2%
  - 「食品関連事業者、飲食店等」 47.1%
  - 「健康福祉センター」 47.1%
- ・市町での保健事業に活用できそうな取組み
  - 「県民向け普及啓発イベント・キャンペーン」 70.6%
  - 「事業者の取組事例の情報提供」 64.7%
  - 「事業者・学術関係者・行政間の交流会、情報交換会」 35.3%
  - 「他市町の取組事例の情報提供」 35.3%

結果を踏まえ、省塩プロジェクトで取り組む内容を検討

# 「ふくい省塩プロジェクト」検討委員会の開催

## 目的

福井県民の優先すべき健康・栄養課題である「食塩の過剰摂取」の解決に向け、産学官等連携・協働による食環境づくりの推進体制として立ち上げる「ふくい省塩プロジェクト」（以下「省塩プロジェクト」という。）について、ビジョンや取り組むべき内容等を、食品関連事業者、学術関係者等の各専門領域の立場で議論する。

## 構成委員

食品製造事業者1名、食品流通事業者2名、食品関連団体1名、メディア（出版）1名、学術（食品加工）1名、学術（経済）1名、職能団体/学術（公衆栄養）1名、市民社会団体1名、行政1名

計10名

## 検討事項

省塩プロジェクトのビジョン  
省塩プロジェクトで取り組む内容（環境づくり、県民への効果的な普及啓発）  
省塩プロジェクトに参画する事業者の要件  
その他必要な事項

| 開催日               | 議題   |
|-------------------|--|
| 第1回<br>R 7. 1. 23 | (1) 福井県の健康・栄養課題について<br>(2) 「ふくい省塩プロジェクト」の立上げについて<br>(3) その他  |
| 第2回<br>R 7. 2. 25 | (1) 「ふくい省塩プロジェクト」立上げに向けた検討<br>(2) スーパー等における「こっそり減塩」実証事業報告<br>(3) 「ふくい100彩ごはん」普及啓発事業について<br>(4) その他 |

## 省塩でイキイキとした“ふくい”を実現 食環境の新たなステージへ、みんなで挑戦！

ふくいの優れた食文化を活かしながら、産学官等の関係者が力を結集して  
省塩に関する新たな市場を創り出し、県民の健康づくりにも  
事業機会の拡大にもつなげる食環境の新たなステージへ挑戦します。  
省塩に興味を持つ人が増え、省塩商品を求めるようになり、省塩商品が市場に広がる、  
さらに、商品・レシピの省塩化が進み、意識せずに省塩行動をとることもできる。  
こうした省塩の推進により、健康寿命の延伸を通じて  
誰もが安心してイキイキと暮らせる“ふくい”を目指します。

# 産学官等連携で取り組む「ふくい省塩プロジェクト」の枠組み

誰もが安心してイキイキと暮らせる“ふくい”の実現

健康寿命の延伸

健康の保持増進・生活習慣病の予防

食品へのアクセス向上・情報へのアクセス向上  
(健康関心度等に応じたアプローチ)

食環境戦略イニシアチブを参考に、福井県版を検討

産学官等連携・協働による「省塩」の推進

産

・「食塩の過剰摂取」に関する行動目標の設定・取組みの実施・進捗報告等

・省塩商品の積極的開発、主流化  
・省塩弁当・惣菜の開発

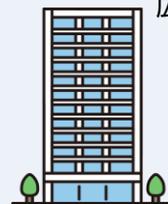
食品製造

・省塩レシピの開発



・省塩に関する情報発信  
・参画事業者と連携した広報活動

同業種・異業種  
間連携



メディア等

・省塩商品の販売促進  
(棚割り、価格等)



食品流通

金融機関

・ESG評価・投資・融資  
(事業機会の拡大を後押し)



ふくい100彩ごはん店

・ふくい100彩ごはん認証  
メニューの開発・販売促進

学

・栄養・食生活に関する地域診断への協力  
・事業者の取組みへの協力・支援

官 (福井県)

・栄養・食生活に関する地域診断  
・県全体の仕組みづくり、関係者間の調整  
・県民・事業者への情報発信

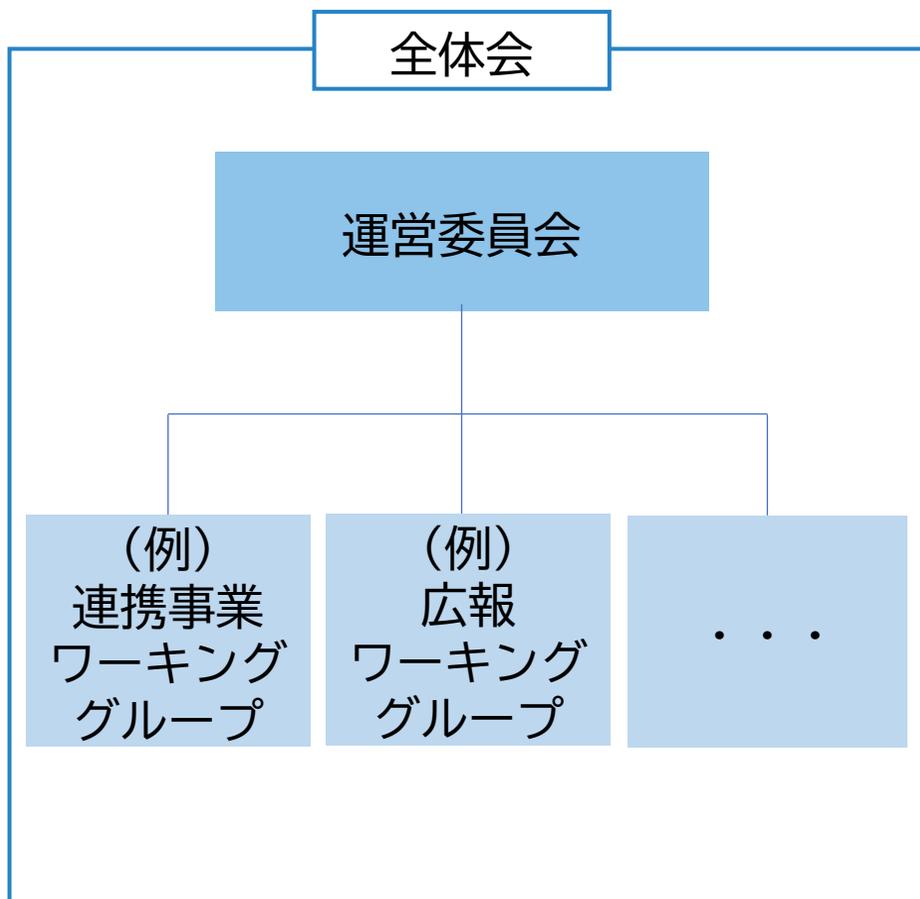
官 (市町)

・栄養・食生活に関する地域診断  
・省塩プロジェクトを活用した保健事業実施

職能団体・市民社会等

・県民への普及啓発  
・事業者への普及啓発

- 「ふくい省塩プロジェクト」の運営事務は県が実施する。
- 運営委員会は省塩プロジェクトのコアメンバーや有識者を委員とし、省塩プロジェクト全体での取組みの方針等を検討・決定する。
- 全体会は省塩プロジェクトメンバー全体の会合（交流会）で、省塩プロジェクトの目標の共有や意見交換・情報交換等を行う。
- 事業者連携による取組みを行う際など、必要に応じてワーキンググループを設置し、企画・運営を行う。



| 組織                    | 主な取組内容  | 開催頻度     |
|-----------------------|---|----------|
| 運営委員会                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの目標設定と目標達成に向けたアクションプランの策定に係る検討</li> <li>・プロジェクトの取組状況の進捗管理</li> <li>・プロジェクトに係る規約の策定</li> <li>・各種行事の検討</li> </ul> | 2～3回/年   |
| 全体会                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの目標、参画事業者の行動目標の共有</li> <li>・事業者連携の推進に係る検討</li> <li>・事業者や市町の取組紹介、意見交換</li> </ul>                                 | 1回/年     |
| ワーキンググループ<br>※必要に応じ設置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民向け普及啓発イベント・キャンペーンなど事業者連携による取組み等に係る企画・運営</li> </ul>  | 必要に応じて開催 |

## 参画事業者のメリット

1. 単独の中小企業では対応しづらい（省塩に関する）新市場開拓などの大規模プロジェクトに参画できるとともに、新市場での売上拡大などの効果が期待できます。
2. 県民の健康づくりを重視し、地域に貢献する企業として、従業員が仕事や企業に前向きな気持ちを持ちやすくなり、エンゲージメント向上が期待できます。
3. 行政、学術、他事業者等関係者との情報交換、連携の構築・拡大ができます。  
情報交換会・交流会を開催し、事業者連携の推進に関する企画や食環境づくりに関する情報提供、行政や他事業者の取組事例の紹介などを行う予定です。
4. 地域貢献等の活動として、本プロジェクト参画を標榜でき、企業イメージの向上につながります。
5. 省塩を通じた県民の健康づくりに積極的に取り組む事業者として、県がウェブサイト等で対外的にPRします。

# 参画事業者募集（第1期）

## 募集期間

令和7年3月17日（月）～令和7年4月30日（水）

## 対象

食品製造事業者、食品流通事業者、マスメディア等の事業者  
（「ふくい100彩ごはん」認証メニューを提供する事業者を含む。）

## 参画要件

「ふくい省塩プロジェクト」の目的に賛同し、福井県内で「省塩」に取り組むこと

「ふくい健康づくり応援サイト」に専用ページを作成  
対象となる「ふくい100彩ごはん」認証店（109事業者）、減塩の取組みに関する実態調査  
対象事業者（200社）等に参画事業者募集および参画事業者募集説明会の開催を案内

## 参画事業者募集説明会

目的：福井県の健康・栄養課題の共有や、取組事例の紹介等を行い、本プロジェクト  
についての理解を深め、多くの事業者の参画を得る

日時：令和7年3月26日（水）10:00～11:00

方法：オンライン開催（期間限定でアーカイブ配信実施）

内容：事例紹介「スーパーサンプラザが考える、持続可能な『食環境』対応」  
株式会社サンプラザ 代表取締役社長 山口 力 氏

行政説明「産学官等連携で取り組む『ふくい省塩プロジェクト』」  
福井県健康福祉部健康医療局健康政策課

減塩の取組内容や、国の  
イニシアチブに参画して  
良かったこと等について  
ご紹介

8事業者  
が参画

（令和7年6月現在）

「ふくい省塩プロジェクト」  
掲載ページ



# 全体会の開催（キックオフ）

**日時** 令和7年6月19日（木）15:00～17:00

**開催方法** ハイブリット開催

**参加者** 参画事業者および参画を検討している事業者、ならびに  
学術関係者、関係団体関係者、市町保健事業担当者  
および県健康福祉センター担当者等 約80名

## 内容

- 1 参画事業者紹介・記念撮影
- 2 記念講演「自然に健康になれる食環境づくりを目指した、  
日本版栄養プロファイリングモデルの開発と今後の展望」  
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
国立健康・栄養研究所 所長 瀧本 秀美 氏
- 3 行政説明「ふくい省塩プロジェクト」について  
福井県健康福祉部健康医療局健康政策課
- 4 事例紹介「事業者と連携した減塩の取り組み」  
高浜町保健福祉課保健グループ 管理栄養士 井上 美穂 氏
- 5 参画事業者発表



福井県健康福祉部長と参画事業者の記念写真



## ■ 教育委員会

- R 6年度から、「福井県学校給食献立計画」に「省塩（減塩）を意識した献立」を位置付け。
- 栄養教諭が食育教材として「塩のおはなし」の動画を作成し各学校へ配布。  
ふくい省塩プロジェクトについても紹介。

## ■ 県研究機関（農林水産部）

- R 7年度から、福井県産「省塩みそ」の開発研究に着手。

今後も、「ふくい省塩プロジェクト」を効率的かつ効果的に推進するため、多部局連携を進めていく。

